

2026年5月1日

明治大学情報コミュニケーション学部専任教員公募要領

明治大学情報コミュニケーション学部長

阿部力也

標記の件について、下記の要領により専任教員を公募します。

記

1 募集科目・任用職名及び人員

「ジェンダーと法」

専任教授、専任准教授又は専任講師 1名

2 担当科目等

主として次の科目等を担当する。

「ジェンダーと法A・B」及び「ゼミナール科目」、その他関連科目

(【資格ごとの責任担当時間】教授：10時間 准教授：8時間 専任講師：6時間)

3 科目内容・業務内容

(1) 科目内容

当科目は、いわゆる「ジェンダーに中立な法律」とは何かを問い直し、伝統的な法律学が前提としてきた価値観・規範・制度設計をジェンダーの視点から再検討することを目的としています。これにより、学生が、ジェンダーの観点から日本および世界の法律問題を具体的に把握し、制度がもたらす影響を分析する力を養うことを期待しています。

さらに、抽象的な理念の理解にとどまらず、現実の社会課題と結びついた形で法の役割と限界を検討し、複数の立場や利害が交錯する場面での法的思考（論点整理・規範の適用・批判的検討を通じた結論の導出）を身に付けることを目指しています。

加えて当科目では、ジェンダーに加え、セクシュアリティ、障害、人種・民族、年齢等のダイバーシティ（多様性）にも留意し、法を複眼的・交差的に捉える視点を重視しています。社会の多様化が進む中で、単一の属性だけでは説明できない不利益や排除の構造を読み解く力は、法学を学ぶ学生のみならず、将来さまざまな専門領域に進む学生にとっても重要です。こうした観点から、当科目を専門的に担い、学術的裏付けと教育的実践の双方について当科目を専門的に担いうる人材を求めます。

(2) 業務内容

業務内容は、自らの研究と上記科目等の授業に加え、学部の教育研究に係わる業務及び大学の管理運営・入学試験関係業務・各種委員会業務など。また将来的には大学院情報コミュニケーション研究科での関連科目や関連業務も担当してもらう予定です。

4 任用予定日

2027年4月1日

5 任用職名に対する応募資格

(1) 専任教授で応募の場合

次のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者

ア 大学において教授又は5年以上の准教授の経歴を有し、かつ、教育研究上の業績（学術論文または著書13本以上）があると認められる者

イ 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績があると認められる者

(2) 専任准教授で応募の場合

次のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者

ア 大学において准教授又は3年以上の専任講師若しくは助教の経歴を有し、かつ、教育研究上の業績（学術論文または著書8本以上）があると認められる者

イ 大学又はこれに準ずる研究所、試験所、調査所等で、本大学の定める授業科目に関連する業務に相当期間従事した経歴を有し、かつ、研究上の業績（学術論文または著書8本以上）があると認められる者

なお、いずれにおいても博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有することが望ましい。

(3) 専任講師で応募の場合

次のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者

ア 大学において専任講師又は2年以上の助教若しくは助手の経歴を有し、かつ、研究上の業績（学術論文または著書3本以上）があると認められる者

イ 修士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績（学術論文または著書3本以上）があると認められる者

6 応募書類

履歴書、業績書、記入例等は、本学ホームページからダウンロードのうえご作成ください。（<https://www.meiji.ac.jp/koho/recruit/documents.html>）

(1) 履歴書（所定書式）：原本及びPDFデータを提出

(2) 業績書（所定書式）：原本及びPDFデータを提出

(3) 研究計画書（自由書式）：情報コミュニケーション学と関連付けた研究計画（A4判1500字程度）：PDFデータを提出

(4) 授業計画案（自由書式）：募集科目「ジェンダーと法A・B」及び「ゼミナール科目」についての授業計画案（A4判1500字程度）：PDFデータを提出

(5) 主要研究業績：PDFデータを提出

ア 専任教授又は専任准教授で応募の場合

(2) 業績書「3 主要研究業績」「(3)主要研究業績の概要」で記載した5本の著書、学術論文及びそれに準ずる著作等（うち著書1冊又は査読付の学術論文を2本以上）

イ 専任講師で応募の場合

(2) 業績書「3 主要研究業績」「(3)主要研究業績の概要」で記載した3本の著書、学術論文及びそれに準ずる著作等（うち著書1冊又は査読付の学術論文を1本以上）

※ 相応の学術的価値があると認める学術論文を、著書又は査読付の学術論文に代えて審査対象とする場合がある。

※ 書籍等のPDFデータで提出が難しい場合には、現物を3部提出。

7 選考方法

第1次審査（書類選考）：8月上旬 審査結果発送

（8月7日までに届かない場合には、ご一報ください）

第2次審査（模擬授業又はプレゼンテーション及び面接等）：

2026年9月7日（月）実施（予定）

8 勤務地、待遇

(1) 勤務地

主として、駿河台キャンパス及び和泉キャンパス

(2) 給与

① 本俸：学校法人明治大学教職員給与規程による

② 期末手当：夏期、冬期、年度末の年3回

③ 諸手当：家族給、勤続給、住宅手当、通勤手当等

(3) 社会保険

厚生年金保険、健康保険、労働保険（雇用保険・労災保険）

(4) その他

企業型確定拠出年金（DC）制度に加入

9 応募締切日

2026年7月2日（木）17時 必着

10 応募方法

a) すべてのPDFデータ（上記「6. (1)～(5)」）は、本人の氏名をファイル名とする単一フォルダにまとめたうえで、1媒体（USB）に収めて提出。

(各データには、「1. 履歴書」「2. 業績書」「3. 研究計画書」「4. 授業計画案」「5. 主要業績 (1) (2) ~」のようなファイル名を付けてください)

b) 履歴書、業績書(上記「6. (1)、(2)」)は原本も提出。

※ご提出いただいた個人情報は、選考の目的に限定して使用します。

封筒に「応募書類在中(ジェンダーと法)」と朱書きの上、郵送してください(応募書類持参不可)。

※ 応募書類・USBは原則として返却しません。ただし、特別な理由により返却を希望する場合は、宛名を書いた返送用封筒等に簡易書留郵送分の切手を貼付し(他の料金受取人払の方法も可)、同封してください。

11 その他

本学の定年は70歳です。なお、本学は私学共済等ではなく、大学独自の年金制度として、2025年度から企業型DC(確定拠出年金制度)を導入しました。2025年度以降に着任される専任教職員は、全員、企業型DCに加入いただきます。

本学は若手・中堅研究者の発掘・育成を積極的に進めるとともに、男女共同参画社会の実現に取り組んでいます。詳細は、男女共同参画推進センターのホームページをご確認ください。

<http://www.meiji.ac.jp/koho/diversity/index.html>

12 応募書類の提出及び問合せ先

〒101-8301 千代田区神田駿河台1-1

明治大学教務事務部情報コミュニケーション学部事務室気付

明治大学情報コミュニケーション学部長宛

問合せ先 明治大学教務事務部 情報コミュニケーション学部事務室

E-mail : infocom@mics.meiji.ac.jp

※電話での問い合わせには応じかねます。

以 上